

農 研 速 報

平成 27 年 7 月 23 日発行



県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(7 月 23 日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理
茨城県 (龍ヶ崎市)	4 月 27 日	「あきたこまち」 穂揃期 「コシヒカリ」 穂揃期	「あきたこまち」 2 日早い (出穂期) 「コシヒカリ」 4 日早い (出穂期)	<p>◇4 月第 6 半旬～7 月第 3 半旬は、平均気温が平年よりやや高く(+0.5℃)、日照時間は平年よりやや多い(115%)。 7 月第 2～3 半旬の平均気温は低く(-2.1℃)、日照時間は平年並に推移した(97%)。</p> <p>「あきたこまち」の出穂期は 7 月 13 日で平年より 2 日早かった。「コシヒカリ」の出穂期は 7 月 21 日で平年より 4 日早かった。</p> <p>平年に比べ両品種とも、草丈・茎数は並、葉色はやや淡い。 両品種とも主稈葉数が平年より 1 枚程度少ない。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>(1) 出穂期までは各品種とも 3～4 日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断灌漑を行う。出穂期以降、落水時期までは、2～3 日で水がなくなる程度に入水し、自然落水後、田面が乾く前に入水する作業を継続する。</p> <p>(2) 登熟期の早期落水は乳白粒や胴割粒などを発生させる。落水時期の目安は、「あきたこまち」が出穂期後25日、「コシヒカリ」が出穂期後30日である。</p> <p>(3) ・斑点米カメムシ類の成虫を対象とした防除適期は穂揃期である。穂揃期に成虫を確認した場合は防除を行う。また、幼虫を対象とした防除適期は乳熟期出穂後10～15日頃である。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要である。</p> <p>・紋枯病は、玄米千粒重の低下や乳白粒の発生を引き起こす要因となる。昨年度に発生が多かった圃場では特に注意し、発生を認めた場合には早期に防除を行う。</p>

水 稲 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表1 4月27日移植(龍ヶ崎市, 移植後80日, 7月16日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	92.5	101 (91.5)	103 (90.1)	600	101 (592)	109 (550)	3.9	-0.4 (4.3)	-0.4 (4.3)	34.6	+0.9 (33.7)	-1.4 (36.0)	11.2	-1.3 (12.5)	-0.9 (12.1)
コシヒカリ	87.3	106 (82.7)	102 (85.7)	577	100 (576)	103 (561)	3.6	-0.1 (3.7)	-0.3 (3.9)	29.8	+0.1 (29.7)	-1.9 (31.7)	12.0	-1.0 (13.0)	-0.7 (12.7)
ふくまる	91.5	105 (87.1)	- (-)	562	99 (567)	- (-)	3.9	-0.3 (4.2)	- (-)	32.2	-0.4 (32.6)	- (-)	12.1	-1.5 (13.6)	- (-)

表2 5月7日移植(龍ヶ崎市, 移植後70日, 7月16日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色(カラスケール)			葉色(SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	82.6	100 (82.6)	99 (83.4)	529	97 (544)	93 (569)	3.8	-0.6 (4.4)	-0.4 (4.2)	32.2	-0.5 (32.7)	-2.3 (34.5)	12.1	+0.1 (12.0)	±0 (12.1)
コシヒカリ	84.0	103 (81.3)	101 (83.2)	550	99 (556)	96 (573)	2.8	-0.1 (2.9)	-0.5 (3.3)	26.3	+1.3 (25.0)	-2.7 (29.0)	12.4	±0 (12.4)	+0.2 (12.2)

注)栽培概要

1. 苗質: 稚苗
2. 植え付け本数: 5本/株
3. 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/m²
ふくまる 18.5株/m²
4. 基肥量 あきたこまち N: P₂O₅: K₂O = 0.7: 0.7: 0.7(kg/a)
コシヒカリ N: P₂O₅: K₂O = 0.6: 0.6: 0.6(kg/a)
ふくまる N: P₂O₅: K₂O = 0.8: 0.8: 0.8(kg/a)

5. 追肥時期及び追肥施用量

- (4月27日移植) あきたこまち 6月25日 N: K₂O = 0.3: 0.3(kg/a)
コシヒカリ 7月 8日 N: K₂O = 0.3: 0.3(kg/a)
ふくまる 6月27日 N: K₂O = 0.4: 0.4(kg/a)
- (5月7日移植) あきたこまち 7月 1日 N: K₂O = 0.3: 0.3(kg/a)
コシヒカリ 7月14日 N: K₂O = 0.3: 0.3(kg/a)

6. 平年値: 平成22~26年の5年間の平均値

ふくまるは平成25年からの調査のため平年値なし

表3 幼穂長からみた出穂期予測

移植時期	品種・栽培法	調査日 (月日)	主穂幼穂長		出穂期予測※			備考
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
4/27移植	あきたこまち	7/16	-	-	7/13	7/15	-2	出穂期確定
	コシヒカリ	7/16	181.4	122.4	7/21	7/25	-4	出穂期確定
	ふくまる	7/16	-	-	7/15	-	-	出穂期確定
5/7移植	あきたこまち	7/16	-	-	7/18	7/18	±0	出穂期確定
	コシヒカリ	7/16	53.3	32.8	7/27	7/29	-2	出穂始め(7/22)

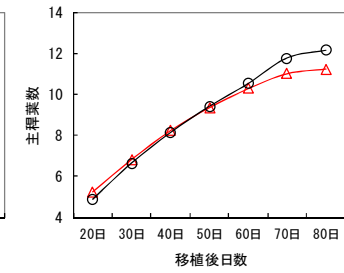
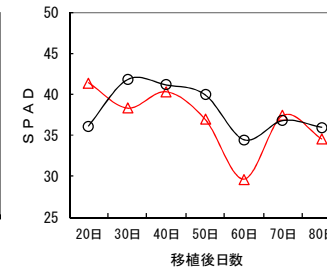
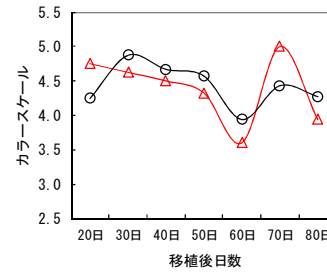
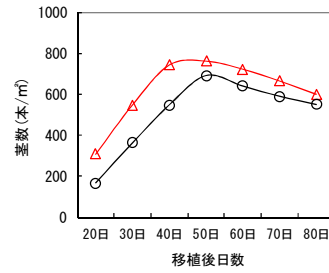
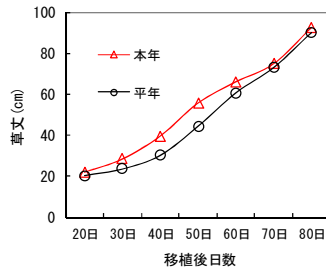
注) 予測は平成16, 18年度成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づいて行った。

※今後気温が平年並に推移した場合の予測

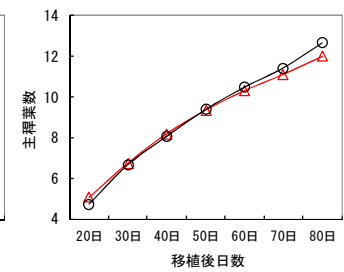
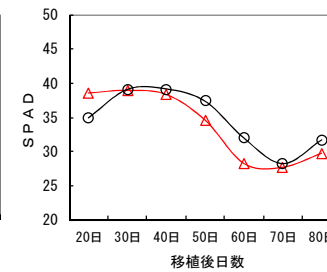
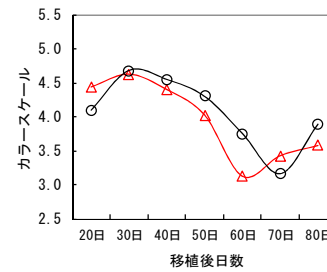
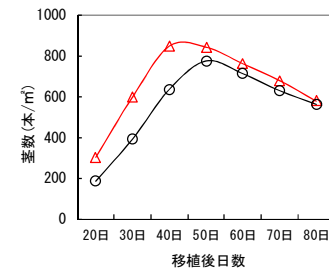
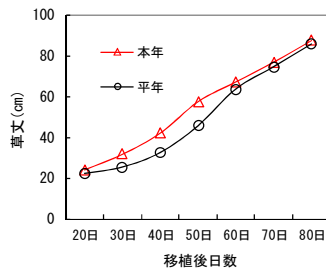
5/7移植「コシヒカリ」については、出穂始めの日から見込んだ出穂期。

平成27年の生育経過グラフ

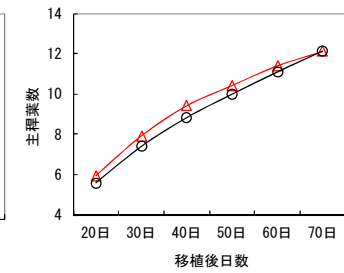
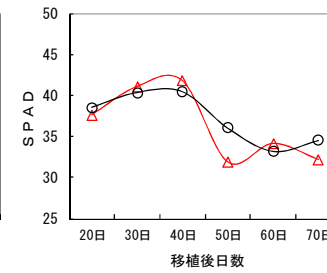
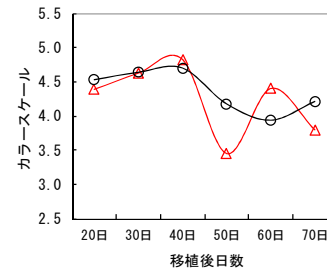
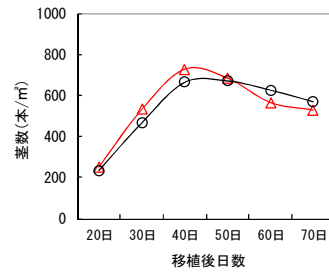
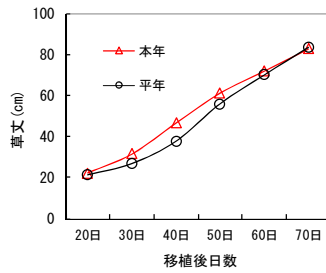
あきたこまち
4月27日移植



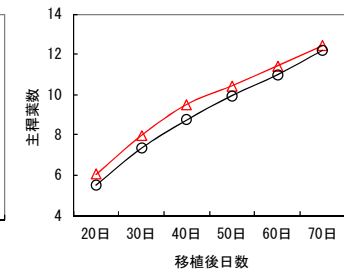
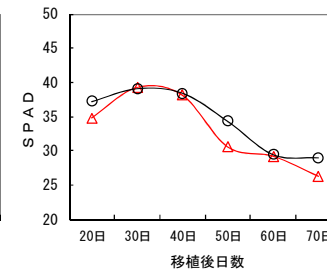
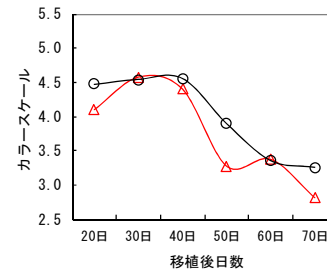
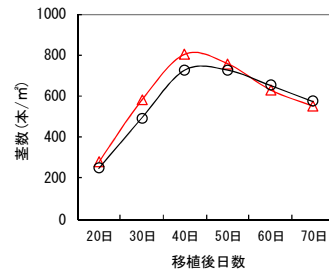
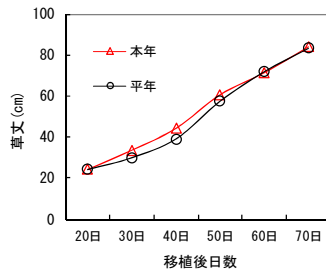
コシヒカリ
4月27日移植



あきたこまち
5月7日移植



コシヒカリ
5月7日移植



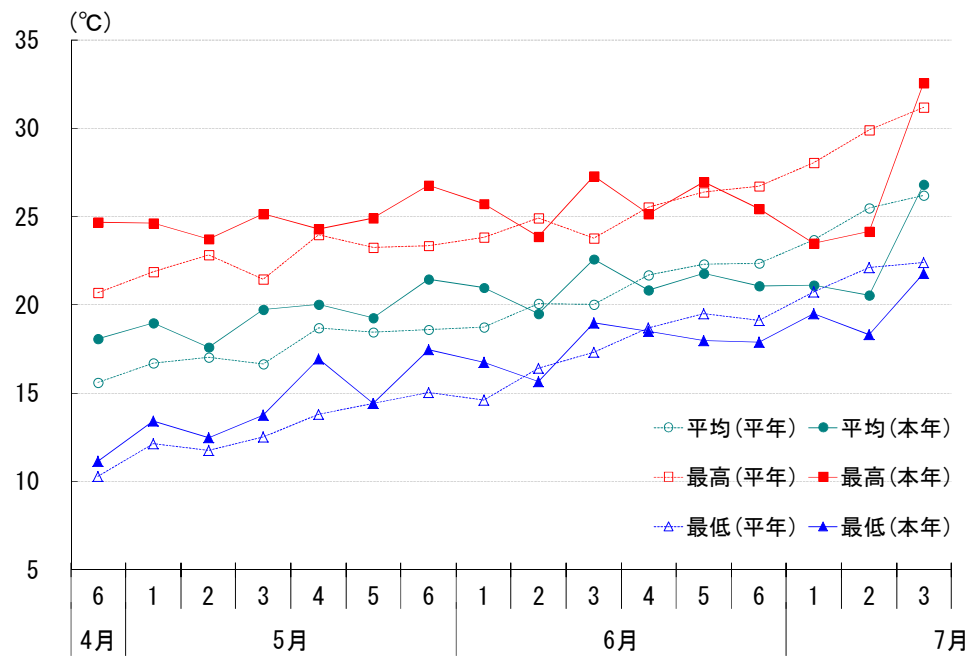


図1 半旬別気温の推移(龍ヶ崎市)

注) 平年値: H22-26の5年間の平均値

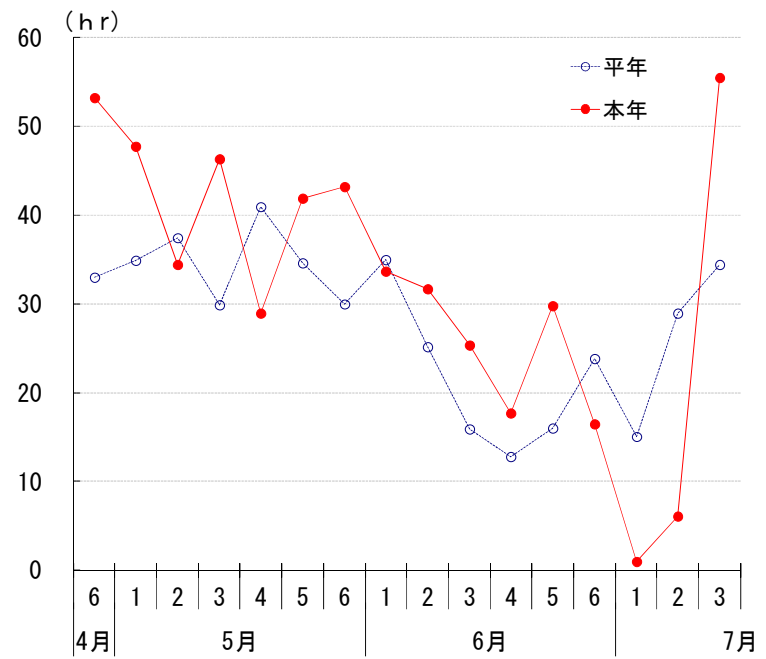


図2 半旬別日照時間の推移(龍ヶ崎市)

注) 平年値: H22-26の5年間の平均値

表4 移植時期別気象条件(龍ヶ崎市)

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
4月27日移植	4月第6半旬～7月第3半旬	20.7	20.1	+0.5	1673	1630	+43	513	448	115
5月7日移植	5月第2半旬～7月第3半旬	21.0	20.7	+0.3	1488	1468	+20	412	380	108

注) 平年値: 平成22～26年の5年間の平均値

【 4 月 27 日移植の生育状況 】 撮影日:7/16

あきたこまち



コシヒカリ



ふくまる



【 5 月 7 日移植の生育状況 】 撮影日:7/16

あきたこまち



コシヒカリ

